

## ① 潮音寺と観音堂

白華山潮音寺は曹洞宗永平寺派で、本山は永平寺です。ご本尊は薬師瑠璃光如来、お寺の開基は室町時代で、江戸時代に開山されました。境内右手に観音堂があり、現在は三重梅花百観音第五番霊場となっています。歴史的にも、美術的にも大変価値があるとされています。



## ② 八幡神社と柿本人麻呂 歌碑

島の守護神であり、旧暦 1 月 18 日には弓引神事（豊漁際）も行われます。島民は「八幡さん」と呼び大変慕われている神様です。八幡神社の入口に柿本人麻呂の歌碑が建てられています。この歌は、持統天皇が 692 年伊勢へ行幸した際、一行の事を思い浮かべながら人麻呂が都で詠んだ歌です。



## ③ 蟹穴古墳と長頸壺

蟹穴古墳は、岩屋山古墳の麓、標高 28mの山の中腹にあります。規模もさして大きくはありません。ただ、古墳から出土した七世紀前半に作られた壺が美術的に大変価値があり「長頸壺」と呼ばれています。蟹穴古墳内部について、当初石室の天井は 4 枚の大きな石で覆われていましたが今は外されています。



## ④ 美多羅志神社と龍神さん

美多羅志神社は、明治四十一年に天王社山神社、天神社等、十社ほどの社を合祀され今の形となりました。創立年代は不詳ですが『美多羅志神（八王子諸神）』を主祭神とする、由緒ある神社です。里の産土神（子宝の神）で神社の祭神は八柱の神々である。正月 4 日には古式豊かな獅子舞神



## ⑤ 岩屋山古墳

島内で最大かつ最高所（標高 80 m）に位置し小畑遺跡を眼下に見るのが、岩屋山古墳です。古墳の入り口や後壁は多少壊れていますが、内部の構造は当時の石積がそのまま残っています。石室の長さ 3m、横幅 2.13m、高さ 2.30 とかなり立派なものです。特に、天井に使われている礫石は、長さ 3mもあり 6 枚の石ですっぽり覆われています。



## ⑥ 九鬼水軍 九鬼嘉隆 首塚と胴塚

九鬼城主・九鬼定隆の次男。伊勢国司北畠氏に属していたが滝川一益を頼って織田信長に仕える。長島一向一揆を攻めに水軍を率いて参加、その功によって志摩・鳥羽城主となる。関ヶ原では西軍に参加し敗戦したが子の九鬼守隆が東軍に参加したため助命を許されるが、その報が届く前に答志島にて自刃した。



## ⑦ 大畑遺跡

おばたけ遺跡（おばたけいせき）は縄文時代から奈良時代にかけての遺跡である。和具港近くにあるおばたけ遺跡からは、縄文・弥生・奈良といった各時代の多くの遺物が採取され、その散布面積は六万平方mに及び平地の少ないこの島において、最大の居住区であった事が確認されています。



## ⑧ 西行法師 歌碑

答志島の東部、大答志トンネル付近に建てられた歌碑で、「さきしまの小石の白を高波の答志の浜にうち寄せてける」と刻まれ、答志の島には白色の石が敷き詰められていると詠んだ短歌である。西行は平安末期から鎌倉前期の僧歌人である。（山下集下巻）

